令和５年度　第１回 熱海伊東地域医療構想調整会議　要約議事録

１　開催日時　令和5年6月 28 日(水)　19:15～20:30
２　開催場所　静岡県熱海総合庁舎1階熱海保健所相談室(Web 開催)
３　出席委員
　　　三枝　壮一郎(熱海市健康福祉部長)
　　　松下　義己(伊東市健康福祉部長)
　　　渡辺　英二(熱海市医師会長)
　　　服部　真紀(熱海市医師会副会長)
　　　山本　佳洋(伊東市医師会長)
　　　立山　康夫(熱海市歯科医師会長)
　　　稲葉　雄司(伊東市歯科医師会長)
　　　前田　修　(伊東熱海薬剤師会副会長)
　　　秋本　佳秀(伊東熱海薬剤師会理事)
　　　池田　佳史(国際医療福祉大学熱海病院長)
　　　川合　耕治(伊東市民病院管理者)
　　　金井　洋　(熱海所記念病院長)
　　　大久保　光(熱海ちとせ病院長)
　　　鈴木　和浩(熱海 海の見える病院長)
　　　稲村　啓子(静岡県看護協会熱海伊東支部副支部長)
　　　森　典世　(伊東市介護保険事業者連絡協議会副会長)
　　　大隅　敏生(全国健康保険協会静岡支部レセプトグループ長)
　　　伊藤　正仁(静岡県熱海保健所長)

(欠席委員)
　　　植田　修逸(南あたみ第一病院長)
　　　荻野　耕介(熱海市介護サービス提供事業者連絡協議会長)

(ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ)
　　　毛利　博(静岡県病院協会長)
　　　竹内　浩視(浜松医科大学特任教授)

◇髙橋次長（熱海保健所）
　ただいまから、令和５年度第１回熱海伊東地域医療構想調整会議を開催します。本日の会議については公開とさせていただき、会議録を作成した上で公開することとしておりますのでご了承願います。
　初めに、委員の変更についてご報告をさせていただきます。熱海ちとせ病院の管理者、病院長の交代に伴い、北谷知己様から大久保　光様に変更になりました。大久保委員、一言ご挨拶の方お願いします。

◇大久保委員（熱海ちとせ病院長）
　熱海ちとせ病院の大久保です。前病院長の後任として務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。

◇髙橋次長（熱海保健所）
　早速でございますが、議事の方を進めさせていただきたいと思います。議事の進行につきましては、熱海伊東地域医療構想調整会議設置要綱第６条に基づきまして、熱海市医師会の渡辺会長にお願いをいたしたいと思います。渡辺会長お願いいたします。

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
　２年任期ということで、今年度も引き続き議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。それでは本日の議事に入らせていただきます。活発な協議との円滑な議事進行につきまして、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。
　まず、議題１の令和４年度外来機能の報告および紹介受診重点医療機関について事務局から説明をお願いいたします。

◇山本主任（熱海保健所）
　　資料に基づき説明

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
　ただいま説明がありましたが、伊東市民病院は意向があるものの、現状では今回、基準を満たしておりません。この点につきまして、伊東市民病院の川合委員から、基準達成に向けてのスケジュール等の説明をお願いします。

◇川合委員（伊東市民病院管理者）
我々の規模の病院、我々のようなパワーの病院が、紹介受診重点医療機関野指定を受けるのはいかがなものかと議論してきましたが、伊東市民病は地域医療支援病院に指定されていますので、そういう使命感から、我々なりにその義務を果たせないかという議論から起こった話で、地域支援病院の指定を受けている関係で、紹介率、逆紹介率を満たしていることから、何かお手伝いできないかという形で、我々が意向を示したと理解いただきたいと思います。
この基準を満たすのは結構なハードルだっていう正直なところ思っております。

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
ただいま事務局および川合委員から説明がありました件につきまして、委員の皆様からご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

◇伊藤委員（熱海保健所長）
紹介受診重点医療機関というのは、患者が特定の病院の外来に集中するため、外来患者を分散させて、医療資源をあまり使わない患者については適切に開業医に紹介するのが趣旨だと思いますが、一方で高齢者人口も減り始めているような地域ですと、外来患者が集中し病院の診療に支障が出ているという声は聞かれません。
この圏域で伊東市民病院以外に声を上げる計画があるのかどうかについて、外来を行っている池田委員や金井委員に伺いたいと思います。

◇池田委員（国際医療福祉大学熱海病院長）
今、1日の外来患者数が550人を超えるぐらいで、コロナ前は700人ぐらいあったのがやっぱり減っている状況で、しかも、熱海市内の方に、紹介状なしで受診したときにお金を取るっていうのは、今、1,000円いただいていますが、もっと高くなるということは、そこでまた揉め事が起こるんじゃないかということ。
あと、熱海市内では開業医もあるんですけどそんなに多くはないし、当院でもちょっと熱が出たぐらいでも見ることができている状況なので、手を挙げずに今の状況を継続していこうと判断しています。

◇金井委員（熱海所記念病院長）
現在1日の平均外来数は大体250名程度で推移してます。やはり池田委員がおっしゃったように、コロナ禍前は、300近い数でしたので、コロナだけのせいではなく、診療の間隔を1ヶ月2ヶ月おきとか、間隔を開けることによって1日

の外来数はやや減っている状況です。なるべく当院としては救急に重きを置いて、救急車の受け入れは大体受け入れ率 98%以上で対応してます。
もちろん紹介というのも非常に重視してるんですが、特に現在の外来、この基準に関しては当院はもちろん満たしてないし、今後ともそれをやろうということは今のところはありません。

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
どうもありがとうございました。それでは、かかりつけ医と紹介受診医療機関の役割分担について、かかりつけ医の立場から、伊東市医師会の山本会長、いかがでしょうか。

◇山本委員（伊東市医師会長）
紹介受診重点医療機関になると、初診料があがるということでしょうか

◇山本主任（熱海保健所）
定額負担の額が上がることになります。

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
アドバイザーの竹内先生何か御意見がございますか。

◇竹内アドバイザー（浜松医科大学特任教授）
まず、この制度をきちんとご理解いただくのが先だと思います。この紹介受診重点医療機関というのは、既に特定機能病院や地域支援病院として承認とか認定を受けている病院であっても、基準を満たした場合に、新たに地域で合意が得られたら、紹介受診重点医療機関として頼むことができるっていうことです。お金の面に関して言うと今の資料にあるとおりで、既に地域医療支援病院の指定を受けている形であれば、お金は何ら変わらないわけです。
今回、何で紹介受診重点医療機関というのが出来たかというと、要するに、かかりつけの病院、診療所と紹介、逆紹介による病院をさらに明確にしていこうという国の機能分担と連携っていう考え方の元にできた制度です。
この地域医療支援病院の基準を参考にしながら、さらにハードルが上がったという形になります。ただ、伊東市には病院が一つしかないわけです。地域の中で、例えば伊東市民病院にしかない診療科もあったりとか、専門外来もあったりっていうことで、かかりつけの先生で診ることができない疾患ですとか、状態像もいっぱいあるわけです。全国でもそういう病院がいっぱいあるわけで、そういう病院が果たして紹介受診重点医療機関のハードルを越えられるかっていうと

本当に難しい話になるわけです。
　ですから、既に地域医療支援病院の指定を受けてる上に、さらにこの紹介受診重点医療機関のハードルを満たさない病院で、認めていただきたいってというご希望があったときに、どういう扱いにするかというのは、しっかり地域で考えていく必要があると思うんです。
　多くの病院が競合しているところで、さらに病診の分離を図っていこうっていうのと、まった訳が違うので、そこのところはやっぱり県の考え方も含めて、その地域で本当に一つしかない病院で、しかも、地域医療支援病院というのは本当に病診連携をしっかりやっていただいてる中で、このハードルを越えられないところをどう考えるかのか、考え方を作って行かなければならないと思います。県庁とか、考え方を、できれば教えていただきたいと思います。以上です。ありがとうございました。

◇渡辺会長（熱海市医師会長）
　川合委員、何か意見はありますか。

◇川合委員（伊東市民病院管理者）
　我々は、竹内先生の今のアドバイスや説明を十分に理解、承知しているつもりです。伊東市のことだけを言っても恐縮ですが、伊東市民病院が地域医療支援病院として手を上げるときに相当議論を戦わしてきましたし、お互い連携を図る協力体制を作ろうということで、医師会の先生方に相当ご理解をいただいたっていう状況があります。
　そういう意味では、今回の件についても、医師会の先生方との連携をさらに踏まえた形で、極端なことをを言うと、投薬だけの慢性疾患の患者は相当減らしましたけど、まだ残っている。そういう患者はできるだけ、クリニックの先生方の方に管理をお願いして、我々は治療と検査で患者さんを受けていくというふうに十分理解をしておりますので、そういう形でやっていきたいと思ってますし、ご理解いただきたいと思います。　山本医師会長とこれからも相談しながらさらに踏み込んだ連携をとっていくと。そういうふうな理解でやっております以上ご報告です。ありがとうございました。

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
　例えば高血圧だけの薬とかコレステロールだけの薬を国際医療福祉大学や熱海所記念病院にもらいに行くというパターンもあるかと思いますが、それをクリニックの会員の先生方に逆紹介で戻すっていうような、そんな感じかなと思ってるんですが、熱海市医師会の服部先生、何か御意見はありますか。

◇服部委員（熱海市歯科医副会長）
紹介に関しては、当院をほとんど受診もしたこともないにもかかわらず、国際医療福祉大学を受診したいので紹介状を書いてくれっていう方がいたりして、時々、面食らうことがありますが、基本的には渡辺議長がおっしゃったような、お互いの役割分担っていうのを考えて、そういう方向に進むのは良いことではないかと思っております。実際そういうふうに進んでいるような気はしております。
◇渡辺議長（熱海市医師会長）
それでは議題２の第９次静岡県保健医療計画に関わる地域医療構想の実現に向けた方向性について事務局から説明お願いします。

◇山本主任（熱海保健所）
資料に基づき説明

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
ただいまのご説明につきまして何かご意見ございますでしょうか。

◇池田委員（国際医療福祉大学熱海病院長）
先ほどもちょっと質問させてもらった件なんですけれども、医療圏という問題ですが、伊東や熱海が、他の圏域と合併とか駿東田方かわかりませんが、した場合は、この計画もその全体の医療圏での計画なってしまうと思うんですけども、そうなった場合に、この計画は、今のこの計画通りでいいのか、あるいはやっぱりちょっと考え方を変えなきゃいけないのかっていうことは考えているかどうかということで、ご質問しました。

◇村松班長（医療政策課）
この圏域版の計画はあくまでこの２次保健医療圏域の計画という形になりますので、もし仮に新たに熱海伊東圏域から脱退することになれば、合わさった圏域で計画を立てていただくという形になります。

◇池田委員（国際医療福祉大学熱海病院長）
それは非常にわかるんですけども、そのことに対して今からちょっとどういう状況になるかっていうのを、僕らは知っていた方がいいかなと思うんですけども、そういう情報は全くないということでよろしいですか。

◇毛利アドバイザー（県病院協会長）
２次医療圏の見直しについては、今回の第 9 次の静岡県保健医療計画の中でも議論は出てます。出てますが、今回の第 9 次では 2 次医療圏の見直しは基本的には行わない方向で今考えています。第 9 次が進んでる中で次の第 10 次のとこら辺ではもう議論がそれが出てきて、2 次医療圏の見直しといった本格的な議論が入っていて、その時にはいろんなところで統廃合が迫ってくる可能性はあります。
今回の給付費についてはあまりそこのところはご心配なさらないで、ご検討いただければいいかと思います。

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
それでは続きまして、在宅医療の多職種連携について、介護事業者の立場から、森委員から何かご意見ございますでしょうか。
（森委員発言無し）

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
看護師の立場から、稲村委員、何かご意見ございますでしょうか。

◇稲村委員（静岡県看護協会熱海伊東支部副支部長）
熱海伊東圏域で看護師の不足、特に若い年代の看護師の不足が非常に著明に出ているなというのが印象です。

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
それでは続きまして、歯科医療や口腔ケアの必要性について、歯科医師会の稲葉委員、何かご意見ございますでしょうか。

◇稲葉委員（伊東市歯科医師会長）
歯科医師会としては、まず２点。まず１点が、市民病院と歯科医院との入院患者に対する医科歯科連携事業をより確立して、今後もそれを向上させていきたいと思っております。
もう１点が、やっぱり在宅医療、訪問歯科診療におけるニーズが現在かなり高まってきているのが現状ですので、それに対応できるべく、診療所とかそういうスタッフの教育等を今後継続してやっていきたいと思っております。

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
熱海市歯科医師会、立山先生から発言をお願いします。

◇立山委員（熱海市歯科医師会長）
歯科医療関係では一番、訪問歯科診療というところにこれからも重点を持っていかないといけないんですけども、それに関しての行政とタイアップも含めて、必要性があるのに我々がまだ活動できていないという、そのシステムといいますか、その制度をもう少し確立していくようにこれからやっていかなければいけないと思っております。

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
続きまして、薬剤師の方で薬局の健康支援やかかりつけ機能について、薬剤師会の前田委員さん、何かございますでしょうか。

◇前田委員（熱海伊東薬剤師会）
病院に行くほどでもないが、体調の悪い患者をフォローしながら、地域の一番最初に相談される医療職を目指して今後頑張っていけたらなと。

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
薬剤師会の熱海の秋本委員、何かご意見ございますでしょうか。

◇秋元委員（伊東医熱海薬剤師会理事）
大きな病院に行きたいという患者様、よくおられます。ただ一応ホームドクター、かかりつけ医を利用することを勧めています。それから、在宅の方なんですけれども、多職種連携の会議には、薬剤師会の定員を増やしていただきたい。

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
それでは、議題２の地域医療構想の実現に向けた方向性については事務局案でよろしいでしょうか。（特に発言無し）
次に、議題３の地域医療構想の推進に関する具体的対応方針の見直しについて、今回熱海所記念病院と熱海海の見える病院の２病院から、説明をお願いいたします。

◇金井委員（熱海所記念病院長）
資料に基づき説明

◇鈴木委員（熱海海の見える病院長）
資料に基づき説明

◇渡辺議長（熱海医師会長）
それでは２病院とも、熱海伊東圏域の医療需要に対応した病院として、今後も役割を果たしていただきたいと思います。
それでは、議題の４の病床機能再編事業助成金について、事務局からご説明をお願いいたします。

◇山本主任（熱海保健所）
資料に基づき説明

◇鈴木（熱海ゆとりあの郷総支配人）
資料に基づき説明

◇渡辺議長（熱海医師会長）
ただいまの事務局及びゆとりあの郷からの説明につきまして、何かご意見ございますでしょうか。提出資料にもありますが、この病床で療養されていた患者さんに関しては、今後は所記念病院、南熱海第一病院、熱海海のみえる病院と連携していくとのことですが、各病院の経営上支障はないでしょうか。

◇金井委員（熱海所記念病院長）
全く問題ありません。

◇鈴木委員（熱海海の見える病院長）
問題ないと思います。

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
他に何か意見ございますでしょうか。それでは、熱海ゆとりあの郷診療所の病床削減計画については、地域医療構想の実現に資するものと認めてよろしいでしょうか。異議なしであれば、ここで認めたいと思います。（特に発言無し）
これからは報告事項になります。報告事項（１）、（２）についいいてまとめて報告願います。

◇山本主任（熱海保健所）
資料に基づき説明

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
　ただいまの事務局からの説明につきまして何かご意見ご質問ございますでしょうか。
ないようでしたら、本日予定しておりました議題報告事項は以上でありますが、その他何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

◇竹内アドバイザー（浜松医科大学特任教授）
　今日の会議は地域医療協議会も含めて、２つポイントがあると思うんですね。１つは、やっぱりこの圏域というのは、入院患者は明らかに減ってきていて、外来患者数はその前にピークを過ぎています。一方、高齢化率が非常に高い地域で、しかも中山間地域が多いっていうことで、訪問診療のケースはまだこれから 10 年増えていきます。
　そういう中で、病診連携をどう考えていくかっていうときに、先ほど、伊東市民病院の川合委員からお話あった、紹介受診重点医療機関とするかどうかという非常に大事な問題、それからもう１つ、昨日、賀茂地区で調整会議があったんですけれども、在宅の医療圏をどう考えるか、今回の地域医療協議会ではするっと通ってしまったんですが、賀茂でもやっぱり在宅をどう考えるか、２次医療圏全部を１つの圏域にするとやっぱり無理なんで、賀茂の医療圏では東伊豆と河津、それから、下田市と南伊豆、西伊豆と松崎っていうように、３つのグループに分けてワーキングを立ち上げてそれぞれバックになるような後方支援病院があるので、その中で在宅の医療提供体制を考えていこうという話になりました。
　熱海伊東の医療圏で言えば、２次救急も伊東と熱海にわかれている中で、在宅の医療圏をどう考えていくのか。
　まだこれから 10 年、訪問診療の患者さんが増えていく中で、在宅医療をどういうふうにしていくか。先ほど歯科の先生方から訪問歯科診療の話も出ていましたし、薬剤師の先生方からは多職種連携の話も出てきていましたけれども、やっぱりその在宅医療体制を２次医療圏まとめて考えていっていいのか、それとも熱海、伊東で救急、医療体制に分けていくかっていうのは大事な議論だと思います。
　この２つ、少なくとも、紹介受診重点医療機関の取り扱いどうするかは、ここで確認をしていった方がいいと思うので、ぜひよろしくお願いします。

◇村松班長（医療政策課班長）
　紹介受診重点医療機関については、今年度始まったばかりの制度ということもございますし、各圏域によって実情が異なるというところもありますので、今

後状況を見ながら、県としてもどういった方法がいいのかを考えていきたいと思っております。
本日、紹介受診重点医療機関ということで、伊東市民病院が手を挙げていただいたんですけれども、今日の会議の場で決定といいますか、承認といいますか、そういった行為が見受けられなかったもんですから、そのあたりのご意見、改めてお伺いした方がよろしいかと思いますけれども、いかがでしょうか。

◇渡辺議長（熱海市医師会長）
我々も、伊東市民病院が紹介受診重点医療機関になる意向を持っていることに賛成ですので、よろしくお願いいたします。
他に何かございますでしょうか。特にないようですので、これで議事終了とさせていただきます。

◇髙橋次長（熱海保健所）
渡辺議長どうもありがとうございました。皆さん本日は長時間にわたりまして、活発な議論をいただきましてありがとうございます。これをもちまして、令和5年度第1回熱海伊東地域医療構想調整会議の方を終了とさせていただきます。
次回の会議は11月頃を目途に開催する予定ですので、よろしくお願いします。